

2012年度 図書館実務担当者研修会 ワーキングC 活動概要

テーマ	レファレンス: インターネット上のレファレンスツールを知る		
概要	事前課題作成、参加者との情報交換、講義を通して、インターネット上のレファレンスツールを把握し、図書館員としてのスキルアップを図ることを目標とする。講義ではレファレンスの基礎を、〈法令情報〉〈統計〉を事例にして学ぶ。 自館で有用なレファレンスツール、Google Yahoo! などの便利な利用法について情報交換をし、他館の事例を通じて、幅広い情報源の知見を得る。		
講師	杉山 誠司 氏	所属	大阪大谷大学

事前活動	●自己紹介(ML) 担当業務、経験年数等 ●事前課題・レポート提出(ML) ※各設問ごとに回答用の簡単なテンプレートを用意 ＜第1ステップ＞レポートを作成し、事前にグループ参加者に配信 1. 自館で有用と考えるインターネット上のレファレンスツールをリストアップ 2. Google, Yahoo! などの便利な利用方法 3. レファレンスで困った事例 ＜第2ステップ＞ 1. 事前課題1 参加者の方から提出された有用なレファレンスツールにアクセスし、利用方法などを確認 2. 事前課題2 参加者の方から提出されたGoogle, Yahoo!などの便利な利用方法を使ってみる 3. 事前課題3 利用者から下記のレファレンスを受けたと想定して、自館での回答プロセスを作成、提出 [質問: 1996年の風俗について調べたい(愛大・金子さんの質問事例より)] ●事前準備(MLほか) 1. ＜第1ステップ＞回答例を参加者全員でファイル共有 2. ＜第2ステップ＞グループ討議当日配布用資料(事前課題3)作成	
研修会当日	【報告】	事前活動報告と研修会での活動(予定)の紹介(中島委員)
	【1日目】	1. 【講義】法令情報(杉山講師)※統計については割愛 2. 【意見交換】事前課題1(個人発表:各2分以内) 3. 情報交換, ネットワーキング
	【2日目】	1. 【グループ討議】事前課題3<第2ステップ> 内容: 1996年の風俗について 個人発表・グループ案作成 2. 【グループ発表】(各5分) 3. 【意見交換】事前課題2 4. 【意見交換】事前課題3 困った事例について、他事例および参考文献等の紹介 5. 全体会報告用スライドの作成(主導:愛知淑徳大学 求野氏)
	【発表】	2日間のワーキング活動内容報告(報告者:愛知淑徳大学 求野氏、中部学院大学 松原氏)
事後活動	●最終成果物の共同作成 お薦めレファレンスツール・リスト統合版および全体会報告資料のリファイン ●フォローアップと情報交換	
その他 (特記事項など)	●講義用の参考文献 いしかわまりこ, 藤井康子, 村井のり子著 『リーガル・リサーチ(第4版)』日本評論社, 2012 →当日の講義は上記文献をベースとして、レファレンスに必要な法令・判例関連の基礎知識を習得することを中心に行われた	

担当委員※	中田晴美	所属	名古屋学院大学学術情報センター
担当委員	中島慶子	所属	豊橋創造大学附属図書館

※ワーキング責任者